

「2006年1月より2013年12月までに川崎医科大学附属病院で膵臓の良性腫瘍および境界病変と診断され膵体尾部切除術を受けられた患者さんへのお知らせ」

「膵腫瘍に対する膵体尾部切除の短期成績：Propensity Score を用いた腹腔鏡下と開腹の比較研究—日本肝胆膵外科学会内視鏡外科プロジェクト（膵臓）—」に関する研究について

当教室では、2006年1月より2013年12月までに、川崎医科大学附属病院で膵臓の良性腫瘍および境界病変と診断され膵体尾部切除術を受けられた患者さんについて、手術に関連した合併症率や回復の程度が、腹腔鏡下と開腹術でどの程度異なるのかをさかのぼって検討することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、膵体尾部切除術の合併症の発生に影響を与える因子を検討し、今後の臨床現場に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。本研究は、カルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。本研究におけるすべての研究者において、研究費は日本肝胆膵外科学会プロジェクト研究費を用いるため利益相反（他者から資金の提供を受けることにより、その結果の判定にひずみが生じかねない状態になることを利益相反状態と言う）の状態にはなりません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。

本研究のお問い合わせ先

担当者:消化器外科学 教授 中村 雅史

e-mail: shouge@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL:086-462-1111(内線 44499) FAX:086-462-1199